

→：R2以前からの継続事業  
→：R3以降開始の新規事業

1 高齢者対策プロジェクト

【プロジェクトの目的】

本町では、「高齢者が笑顔で暮らせる町」を基本理念に、健康増進や介護予防に取り組んでいます。今後、団塊の世代が後期高齢者となり、さらに介護ニーズが高い85歳以上の高齢者の急速な増加が予想されています。

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して日常生活を送ることができるよう、包括的な支援を継続的に提供できる体制の充実を図るとともに、社会参加を促進します。

【目的達成のための事業】

| 施 策           | 事業名         | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---------------|-------------|----|----|----|----|----|
| 在宅及び施設サービスの充実 | 社会福祉協議会運営事業 |    |    |    |    |    |
|               | 介護保険運営事業    |    |    |    |    |    |
| 高齢者福祉サービスの充実  | タクシー助成券補助事業 |    |    |    |    |    |
| 高齢者の社会参加機会の促進 | 老人福祉総務事業    |    |    |    |    |    |
|               | 敬老祝金支給等事業   |    |    |    |    |    |

2 子育て支援プロジェクト

【プロジェクトの目的】

幼児教育・保育の無償化、働き方改革等の子育て環境の変化を背景として、子育てや暮らしのあり方が多様化していく中で、家族を持つことや子どもを産み育てることの喜びや楽しさを実感できる地域づくりが重要となります。

また、幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎となる重要なものであり、子どもたちが、明るく元気に育つことができる環境を維持し、さらに発展させるため、保育との一体化を進めていく必要があります。

【目的達成のための事業】

| 施 策               | 事業名                | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-------------------|--------------------|----|----|----|----|----|
| 地域による子ども・子育て支援の充実 | 出産祝金交付事業           |    |    |    |    |    |
|                   | 乳幼児、児童医療費助成事業      |    |    |    |    |    |
|                   | 放課後児童健全育成事業        |    |    |    |    |    |
| 保育サービス提供体制整備      | 幼保連携型認定こども園整備／運営事業 | 整備 |    |    |    |    |
|                   |                    |    |    | 運営 |    |    |
| 持続可能な教育体制の確立      | 地域学校協働活動推進事業       |    |    |    |    |    |
|                   | コミュニティスクール事業       |    |    |    |    |    |

3 産業振興プロジェクト

【プロジェクトの目的】

本町の農業経営は、米を基幹として野菜、畜産などの複合経営の確立を促進してきました。農家数は減少傾向にある一方で、集落営農組合などの組織化が進み、1経営体あたりの経営面積の規模拡大が図られています。

米を基幹作物とした農業経営を維持するためには、生産性の向上による所得の確保などが必要です。

また、担い手の規模拡大や低コスト化につながる農業基盤の整備や新たな人材の確保・育成、農業農村環境保全への取組を推進していきます。

企業誘致では、近隣自治体への自動車関連や高度電子関連、食品関連企業の進出により、本町における工業環境も変化しています。工業団地の整備事業に着手し、一部は造成が完了しており、誘致活動をさらに推進していきます。

また、本町の豊かな自然のシンボリック観光拠点である船形連峰へのアクセス道の改善に努める等、既存の観光資源の充実と活用を図り、交流人口の増加につなげることや、商品券の発行等による町内の賑わいづくりの取組を支援し、販売機会・販路の拡大を図ります。

【目的達成のための事業】

| 施 策              | 事業名                     | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|------------------|-------------------------|----|----|----|----|----|
| 生産性の高い農業経営の確立    | 大豆振興事業                  |    |    |    |    |    |
|                  | えごま栽培推進事業               |    |    |    |    |    |
|                  | 水田営農条件整備事業              |    |    |    |    |    |
| 農業生産基盤の整備        | 農地集積・集約化対策事業            |    |    |    |    |    |
| 人材の確保・育成         | 新規就農者育成支援対策事業           |    |    |    |    |    |
|                  | 地域おこし協力隊事業（農業支援等）       |    |    |    |    |    |
| 農業・農村環境保全への取組の推進 | 鳥獣被害対策事業                |    |    |    |    |    |
| 企業誘致活動の強化        | 企業誘致推進事業                |    |    |    |    |    |
|                  | 工業団地整備事業                |    |    |    |    |    |
| 既存観光資源の充実と活用     | 林道維持事業（青野～岳山線）          |    |    |    |    |    |
|                  | 嶽山1号線道路整備事業             |    |    |    |    |    |
|                  | 交流人口増加のためのコンテンツ創出戦略策定業務 |    |    |    |    |    |
| 販売機会の確保・販路拡大の支援  | 商工振興助成事業                |    |    |    |    |    |

4 移住・定住プロジェクト

【プロジェクトの目的】

本町では、地域活性化住宅の整備や定住促進団地の造成など、移住・定住促進に向けた施策を展開してきました。しかし、人口は依然減少傾向にあり、若年層の町外流出や都市住民の町内流入など、社会増減の動向を見据えながら、移住・定住促進のための基盤の整備を推進していく必要があります。

【目的達成のための事業】

| 施 策                | 事業名            | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|--------------------|----------------|----|----|----|----|----|
| 町営住宅の適切な管理と新規設置の検討 | 町営住宅管理事業       |    |    |    |    |    |
|                    |                |    |    |    |    |    |
| 宅地分譲の推進            | 宅地分譲整備事業       |    |    |    |    |    |
| 移住情報等の収集と提供        | 移住・定住促進事業      |    |    |    |    |    |
| 都市圏からの移住・定住の促進     | 地域おこし協力隊事業（募集） |    |    |    |    |    |

5 行政と住民のまちづくりプロジェクト

【プロジェクトの目的】

地方分権、そして地方創生の進展により、地域主権、住民自治という独自の施策が必要とされる一方で、地域活動への参加者の固定化・高齢化、住民の価値観やニーズの多様化により、従来の行政運営だけでは地域課題への対応が困難になっています。

将来にわたって持続可能で、魅力的なまちづくりを推進するため、地域住民と行政、関係団体等が協働、連携していく必要があります。

また、個々の施策について、広域連携が可能な分野についての調査・検討を進め、広域行政を推進します。

【目的達成のための事業】

| 施 策            | 事業名         | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|----------------|-------------|----|----|----|----|----|
| 全町的な協働意識の向上    | 町広報紙発行事業    |    |    |    |    |    |
|                | ホームページ等運営事業 |    |    |    |    |    |
| まちづくりへの町民参画の拡大 | コミュニティ補助金事業 |    |    |    |    |    |
| 多様な主体との連携の推進   | 地域づくり総合事業   |    |    |    |    |    |
| 広域行政の推進        | 大崎定住自立圏協定事業 | 2次 | 3次 |    |    |    |

# 色 麻 町 長期総合計画

令和3年度～令和12年度

●ダイジェスト版●

自然を愛し、人が輝き、  
夢のある持続可能な  
まちづくり

宮城県色麻町



# 第5次長期総合計画【基本構想】

計画期間 令和3年度～令和12年度

## 1 健やかに生きるチカラ（保健・医療・福祉分野） 『心身ともに元気で笑顔が絶えない町』の実現に向けて

- 1 健康づくりの推進  
(こころと身体の健康づくりの意識の高揚と、支援体制の充実強化)
- 2 医療体制の充実  
(町民の「命と暮らし」を守る医療体制と医療環境の充実)
- 3 長寿社会の確立  
(「高齢者が安心して生きがいを持って暮らせるまち」を目指す)
- 4 地域福祉等の充実  
(関係機関、地域が連携し、地域全体で福祉を支える体制を整備)

## 6 つながるチカラ、つなげるチカラ（持続可能なまちづくり分野） 『人と人がつながり、未来につなげるまちづくり』の実現に向けて

- 1 行財政改革の推進  
(選択と集中による事業の推進と投資、事務事業の効率化を推進)
- 2 住民参加と協働のまちづくりの推進  
(地域が一体となったまちづくりのため、全町的な協働意識の向上と参画機会の拡大)
- 3 多様な主体との交流と連携の推進  
(国内外との交流と多様な主体との連携を推進し、交流人口・関係人口の増加)
- 4 広域的連携の推進  
(自治体間連携・協力を推進し、機能分化・効率的な事務事業の運営を図る)

## 5 安心して暮らすチカラ（生活環境分野） 『自然や文化を活かしつつ心地よく住み続けられる町』の実現に向けて

- 1 計画的な土地利用の推進
- 2 快適生活のためのライフラインの整備  
(自然と快適さの両立した心地よい生活環境の整備)
- 3 地域移動手段の確保  
(近隣市町等と連携した広域的な公共交通対策と、新しい地域交通のあり方の検討)
- 4 高度情報化の推進  
(町内における情報基盤の充実に努め、利便性の高い行政情報サービスを提供)
- 5 移住と定住環境の整備促進  
(移住希望者の受け入れと定住化促進のための環境整備推進)
- 6 安心な暮らしの確保  
(消防、防災、防犯など、安全管理体制の強化と町民の意識・スキルの向上)

## 2 未来に羽ばたくチカラ（子育て・学校教育・生涯学習分野） 『新しい時代を切り拓く人づくり』の実現に向けて

- 1 子育て支援事業の充実  
(ハード・ソフトの両面から子育て環境、保育サービス提供基盤の整備・充実に努める)
- 2 学校教育の充実  
(特色ある教育環境を生かし「生きる力」と個性を育てる教育の充実)
- 3 一生を通じて学び続けられる生涯学習社会の推進  
(「自立・協働・創造」する人づくりの実現に向けた生涯学習社会の構築と、文化芸術による豊かな人間形成と町の歴史・文化を未来へ伝える取組の推進)

## 3 生き生きと働くチカラ（農業・商工業・観光分野） 『賑わいと働きがいのある町』の実現に向けて

- 1 色麻型農業の育成  
(経営感覚のある農業経営体の育成と、農業・農村環境保全のための地域での取組の促進)
- 2 工業等の導入と育成  
(企業誘致を推進し、雇用の創出と工業による地域産業経済の活性化)
- 3 観光と地域商業の振興  
(地域資源や特産品のPRと新たな特産品の開発・生産／商工会と連携して町の「賑わいづくり」を推進)

## 4 自然を大切に生かすチカラ（自然・環境分野） 『色麻の自然と環境を愛し、共生する町』の実現に向けて

- 1 豊かな自然の保全  
(身近な問題から自然保護への意識の高揚を図り、地域が一体となった環境保全に努める)
- 2 のどかで安心できる暮らしの維持  
(大崎耕土世界農業遺産として評価された環境を次世代に残す活動／町民の廃棄物処理に対する意識改革の推進と実効のある取組の実施)
- 3 新エネルギーの利用促進  
(新エネルギー導入を推進しつつ、施設の新規敷設の適正な誘導)

1  
健やかに  
生きるチカラ  
(保健・医療・  
福祉分野)

2  
未来に  
羽ばたくチカラ  
(子育て・学校教育・  
生涯学習分野)

6  
つながるチカラ、  
つなげるチカラ  
(持続可能なまち  
づくり分野)

3  
生き生きと  
働くチカラ  
(農業・商工業・  
観光分野)

5  
安心して  
暮らすチカラ  
(生活環境分野)

4  
自然を大切に  
生かすチカラ  
(自然・環境分野)

### 基本理念

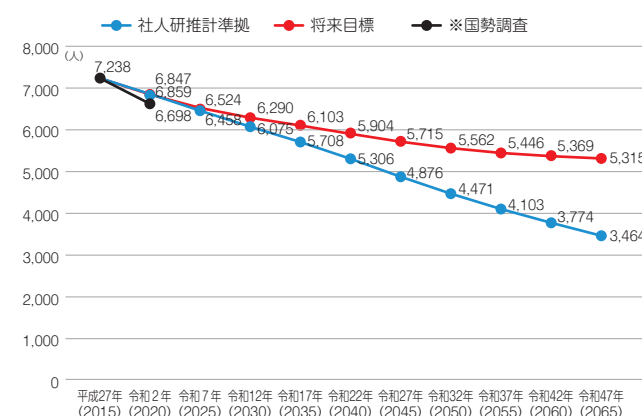
(まちづくりの基本的な考え方)

自然を愛し、人が輝き、  
夢のある持続可能な  
まちづくり

色麻の自然、生活、文化を大切にし、  
共に考え、共に創る

「色麻に生きる喜び」を実感できるまちづくり

現在の人口動向と人口の将来目標



色麻町の人口は減少傾向が続いており、令和2年の国勢調査では総人口が6,698人となりました。そこで、政策分野の中でも人口減少対策を中心として「重点戦略」を定めました。

※現時点での令和3年度から令和7年度までの施策を裏面に掲載しています。

### 重点戦略「前に進むチカラ」

- 1 高齢者対策プロジェクト
- 2 子育て支援プロジェクト
- 3 産業振興プロジェクト
- 4 移住・定住促進プロジェクト
- 5 行政と住民のまちづくりプロジェクト

『色麻町第5次長期総合計画』本編は、ホームページでご覧いただけます。

色麻町第5次長期総合計画

検索